



# つるおか 宏 祥 鶴岡ひろよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 一宮川の浸水被害

# 抜本的な治水対策に着手へ

# 全国初の広域農水道へ第一歩を!

# 4千戸が家屋浸水被害



12月議会の本会議に登壇した鶴岡県議

茂原市選出で自民党の鶴岡宏祥(つるおか・ひろよし)県議は、12月定例県議会の一般質問に登壇し、10月末の豪雨災害で、一宮川流域では4千戸を越す浸水被害が発生したことから、抜本的な治水対策を求め、太平洋まで伸びる長生地域全体への治水対策事業への調査費の予算化を強く要望しました。これに対し、農林水産部長は実情把握のための調査・研究に着手することを明言しました。

また、農業・農政問題をライフワークにする鶴岡県議は、ジャンボタニシの防除対策に県としていち早く取り組むよう提言しました。千葉リハビリセンターの建替え問題など、その他の地域の課題について、県執行部の答弁を求めました。特集でお知らせします。

## 半日の総雨量360ミリ

**鶴岡議員** 10月25日未明からの大雨は、一宮川流域の長生郡市、とりわけ茂原市、長柄町、長南町では辺り一面が浸水し、場所によっては人の背丈を越えるほどの浸水となりました。30年間で4度の水害に見舞われるというのは、尋常なことではありません。

そこで伺います。一宮川における、これまでの整備状況と今回の大雨に対する県の認識はどうか。

**県土整備部長** 一宮川の流域では、平成元年と8年の2度にわたり大きな水害を経験し、「河川激甚災害対策特別緊急事業」により、4カ所の洪水調整池の整備と、堤防のかさ上げや河道

## 速やかに抜本的対策

**鶴岡議員** 一宮川の河川整備を直に見直し、さらなる治水対策を展開すべきと思うがどうか。

**県土整備部長** 10月25日の大雨では、鶴枝川合流点より下流域では顕著な浸水

## 河道内に未買収地3割

**鶴岡議員** 一宮川の川中島における用地取得の見通しはどうか。

**県土整備部長** 一宮町宮原地先では、一宮川の河道内に総面積約7千4百平方メートルの未買収地があるため、計画上の断面が確保されていない状況です。

この土地は共有名義となっており、その地権者は7百名以上に上り、煩雑な手続きの割に1人当たりの買収額が少額となることや、所在が分

## 湛水対策の調査着手

**鶴岡議員** 農業用排水路について、湛水対策のための調査・研究に予算をつけて取り組んではどうか。

**農林水産部長** 大規模な水害が頻発する中で、関係部局が連携して総合的な排水対策を講じていくことが重要だと認識しています。

まずは、実情の把握に向けて調査を行ってまいりたいと考えています。

**鶴岡議員** ご答弁ありがとうございました。河南県

今後、流域の市町と連携して、家屋や主要施設の浸水被害を防止できるよう、治水計画の見直しを行い、速やかに抜本的な治水対策に着手できるよう、検討を進めてまいります。

6名の犠牲者を出してしまった茂原市、長生郡の今回の大雨による浸水、排水対策について、国・県・地元市町村が総力を結集して、この難局を乗り越えていけるよう、補正予算同様、心を込めて、スピード感を持って対策に取り組んでいただきたく切に要望します。

また、半田農林水産部長より、湛水対策事業での実情把握のための調査・研究を行うという前向きな答弁をいただき、県のやる気を感じました。新しい排水路が茂原市より太平洋まで伸びる全国初の広域農水道への第一歩となりました。これは、一宮川整備計画にブラッシュアップした茂原市・長生郡の新しい排水整備のスタートだと思えます。



# 日本の農政をリードする意気込みで

## ジャーンボタニシの駆除要望

鶴岡議員 スクミリンゴガイ、いわゆるジャーンボタニシは、田植え後間もない若い苗を好んで食べ、水稲の収量を減少させます。ジャーンボタニシは、一度に大量の卵を産むなどの繁殖力が強く、また、雑食性であるなど、環境への適応力が高いことから、本年8月時点で県内31市町村で発生が確認されています。

今後、ジャーンボタニシの防除対策をどのように強化していくのか。

農林水産部長 ジャーンボタニシの発生地域の拡大防止及び被害軽減を図るためには、個々の農業者が行う水田での農薬散布や、水位を浅くした栽培管理などの防除対策に加え、地域が

共同して発生源である水路での貝の増殖を防止する対策が必要です。

このため、水路での貝の駆除や泥上げを地域で共同して行うモデル事業を昨年度から、山武市及び匝瑳市の2地区で実施したところ、

貝の生息密度が低下し、また、イネの被害が軽減されるなどの効果が確認されました。

①対策のスタートが遅ければ、発生地域が更に拡大していく恐れがありますので、一刻も早く

## 千葉県ハビリセンター

## 基本計画の原案作成に向けて

鶴岡議員 千葉県ハビリテーションセンターは、開設から既に38年余りが経過し、施設の老朽化、狭隘化が進んでおり、本年度に建設場所を決定し、センターの具体的な機能・役割や施設規模等を盛り込んだ基本計画を策定していく予定です。

森田知事 センターでは、重症心身障害、脊髄損傷、高次脳機能障害などの重度の障害のある方に対し、民間では対応が難しい高度な医療ケアから福祉サービスを利用した社会復帰に至るまでの支援を行うなど、包括的な総合リハビリテーション機能を担っています。

現在県では、センター再整備の基本計画の原案作成に向けて作業を行っており、新センターでは引き続きこれまでの機能を担いつつ、

就労支援の充実や、重症心身障害児者の入所定員の拡充

個室や4人部屋を基本とした病室構成や、訓練室の拡充

利用者へのサービス向上に向けた施設整備を図ることについて検討を進めてまいります。



再質問に立つ鶴岡県議

新たな千葉県ハビリテーションセンターでは、どのような医療・福祉のサービス

に力を入れようとしているのか。

私は、センターのスタッフは日本一だと思っておりますが、今の施設はスタッフに似つかわしくありません。50年に度の建替えのチャンスなので、センター整備の方向性をしっかりと実現できるように、現場で働くスタッフの意見も参考にさせていただきながら、しっかりと計画をまとめ上げ、ぜひとも世界に誇れる施設にしていきたい。

## 公共工事の平準化

鶴岡議員 県の公共工事

時期の平準化について、どのように取り組んでいくのか。

県土整備部長 地域の守り手である建設業の健全な発展、担い手の中長期的な確保・育成、工事の品質確保を図るため、工事時期の平準化は重要だと認識しています。

建設業の将来を見据えると、やはり公共工事の施工時期の平準化は非常に重要だと考えます。平準化が進まない事業あることも理解しますが、各部署が密接に連携を図り、県の公共工事の平準化を着実に進めていただくよう要望します。

## 阿久川と赤目川の整備

鶴岡議員 阿久川と赤目川の整備状況はどうか。

県土整備部長 阿久川では、獅子吼橋から市兵衛橋までの1.8キロ区間のうち、

今年度は、萱場橋の上流0.6キロ区間について河道拡幅に向けた設計を行うとともに、萱場橋の仮橋撤去と上流側のA調整池の掘削工事を実施しているところで、今後とも、早期に流域の治水能力の向上が図られるよう、地元のご協力を得ながら、改修事業を推進してまいります。

## 六ツ野・千町の交差点改良

鶴岡議員 県道正気茂原線の茂原市六ツ野地先及び千町地先における交差点改良の現状と見通しはどうか。

県土整備部長 六ツ野地先の交差点は、朝夕を中心に渋滞が発生しており、右折レーンの設置と歩道整備を行っており、これまでに設

計や用地測量を完了し、今年度から用地の取得に着手したところです。

千町地先の交差点は、市道と食い違いで交差しているため、見通しが悪いことから、交差点改良と歩道の整備に向け、検討を進めています。これまでに概略設計が

完了したことから、年度内に地元説明会を実施することになっています。

鶴岡議員 茂原長柄スリートインターチェンジのその後の整備状況はどうか。

県土整備部長 現在、茂原長柄スリートインターチェンジ本体は、東日本高速道路会社が舗装工事等を実施しており、また茂原市長柄町が共同整備しているアクセス道路と、県が整備している県道千葉茂原線との交差点については、舗装の表層工と安全施設の工事を残すのみです。引き続き、今年度内の開通に向け、連携して残る工事を進めてまいります。

## 地域の思いを県政に

●茂原市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

鶴岡ひろよし 県事務所

〒297-0037 茂原市早野2130 TEL.0475(27)2601/FAX.0475(26)2839